

## 『Beads, beads, beads』 ドイリー編み方解説

パターン配布元：vintagesheetpatterns (Celt's Vintage)

<http://groups.yahoo.com/group/vintagesheetpatterns/>

解説：HAZEL (<http://hazelstyle.blog79.fc2.com/>)

### 【このパターンで使われている編み方用語】

st：目 / ch：鎖編み / sc：細編み / dc：長編み / trc：長々編み /

cluster st:玉編み / sl st, join：引抜き編み

※パターン中に「s c」や「tr c」とスペースを空けて書かれていることがありますが、これらはスペース部分を繋げて「sc（細編み）」「trc（長々編み）」として編んでゆきます。

beg, 1st：最初の / each of：それぞれの / work, worked：編む、編んだ / skip：（目を）飛ばす /

round：段 / hook：かぎ針 / thread over：（針に）糸をかける

all around：1周分 / ending(with)～：～でその段を終わらせる /

repeat from \*：\*からの編み方を繰り返す

loop：針にかかった糸、または前段の鎖編みで出来たループを指す

例…ch-7 loop



### 【編み始め（1段目）】

ch 10, join to form a ring

鎖編み10目を編んで、最初の目に引き抜き編みをして輪にする



ch 4, keeping last loop of each st on hook 2 tr c in ring, thread over and work off all loops at one time,

鎖編み4目、未完成の長々編みを2目作り、針にかかっている全ての目を一度に引き抜く  
（最初の鎖編み4目を入れて、これで長々編み3目一度を作ったことになる）



ch 3, cluster st in ring (cluster st: keeping last loop of each st on hook, 3 tr c in ring, thread over and work off all loops at one time),

鎖編み3目、クラスター・ステッチ

（=未完成の長々編み3目を作り、針にかかっている全ての目を一度に引き抜く）



ch 3, trc in ring, repeat from \* 6 times,

鎖編み3目、長々編み、を編んだら、\*からの編み方を6回繰り返す

ch 3, join in 1st cluster st.

鎖編み3目、1番最初のクラスター・ステッチに引き抜き編み（これで1段目おわり）

## 【2nd ROUND (2段目)】

Sl st into loop, ch 1, 1 s c, ch 3, 1 s c in same loop,

前段の鎖3目のループに引き抜き編み、[鎖1目、細編み1目、鎖3目、細編み1目]を  
同じループに編み入れる

※編み入れる場所の指定が出てくるまでの、すべての目は同じ指定場所に編みます

\* ch 7, 1 s c, ch 3, 1 s c in next loop, repeat from \* all around

鎖7目、[細編み1目、鎖3目、細編み1目]を次のループに編み入れる。これを1周繰り返す  
ending with ch 3, dc in 1st s c, this brings thread in position for next round.

最後は鎖3目、段最初の細編みの頭に長編み。

これで3段目の編み始めに丁度良い位置に糸が来るようになる。

※ (ここは鎖7目の代わりになる部分ですが、

このパターンでは鎖3目+長編みで7目分の長さとしているようです。

編んでみて長さが7目分に満たない時は、鎖3目+長々編みに替える等、調整すると良いかもしれません)

## 【3rd ROUND (3段目)】

repeat from beg all around ending ch 3, dc in dc.

最初からこれを1周繰り返し、鎖3目、最初の長編みに長編みを編み入れて終わる

※dc in 「dc」は、段最初の長編み＝「1st dc」「dc at beginning」の略です

## 【4th ROUND (4段目)】

Ch 3 (counts as 1st dc), 2 dc, ch 3, 3 dc in dc

段最初のシェル編み(鎖3目&長編み2目—鎖3目—長編み3目)の部分です。

(all 1st shells will be worked in same manner)

は、以降、段の最初にシェル編みが来る時は同じ編み方をしてください、という意味です。

\* ch 3, 1 s c, ch 3, 1 s c in next loop (picot),

ピコット編み部分は、(細編み1目—鎖3目—細編み1目)に指定されています。

(shell) in center st of next loop,

前段の鎖編み7目の中心に当たる4目めに、シェル編みを編み入れる

## 【5th ROUND (5段目) ~8th ROUND (8段目)】

ending to correspond

前段と同じようにして終わる、という意味です。

4段目のjoinの手前、

「ending with ch 3, 1 sc, ch 3, 1 s c in last loop, ch 3,」と書かれている部分を指しています。

## 【9th ROUND (9段目)】

Repeat 7th round.

7段目の編み方を繰り返す

## 【10th ROUND (10段目)】

Repeat 8th round but ch 9 between shells

8段目の編み方を繰り返す。ただし、シェルとシェルの間の鎖編みは、6目ではなく9目で編む

## 【11th ROUND (11段目)】

dc in 3rd st of ch at beg, turn.

turn＝編み地を裏返した時に、パイナップル(7目の長々編み)の端から次の段を始められる様に、  
あえて鎖3目ではなく長編みで終わる編み方をしています。

※ここでいったん糸を切って、ビーズの編み込みが始まる12段目から糸替えをする場合は、  
「鎖3目 → 最初の目に引き抜き編み」で終わらせた方が、糸始末がやり易いと思います。

### 【12th ROUND (12段目)】

String beads on "STAR" MERCERIZED SEWING THREAD.

縫い糸にビーズを通す

Working with strand of "PURITAN" and sewing thread,

このパターンでは編み糸 (PURITAN) の他にもう1本、ビーズを通した糸を添えて編んでいるので編み地にボリュームが出ないよう、ビーズの糸にはより細い縫い糸が使われているようです。

\* insert hook in 1st trc of pineapple, place 2 beads close to hook, complete sc (beaded sc),  
前段パイナップル部分の長々編みの頭に針を入れ、2コのビーズを針の近くまで引き寄せたら、ビーズ編み込みの細編み (beaded sc) を編む

beaded s c in each of the next 6 tr c of pineapple,  
残り6目の長々編みそれぞれにビーズ編み込みの細編みを編む

※段の終わり方は、ちょっと変わっています。

do not join or turn following rounds

最後の鎖3目を編んだら、普通は最初の目にjoinで終わるのですが、

以降16段目までの間、最後の目を繋げず、編み地をそのまま次の段へと移ります。

また、これからは編み地を裏返さずに編み進んでゆきます。

### 【13th ROUND (13段目) ~15th ROUND (15段目)】

7目あるパイナップルの長々編みの、最初のひと目を飛ばして次の目にビーズ細編みをします。

※ずれてしまうようで変な感じがしますが、13段目で**最初の1目**、この後の14段目で**最後の1目**をずらして編むことで、パイナップルの三角形が斜めに傾かない様になっています。

図にするとこんな感じです。

```
17 ○ ○  
16 ○ ○ ○  
15 ○ ○ ○ ○  
14 ○ ○ ○ ○ ○  
13 ○ ○ ○ ○ ○ ○  
12 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
```

### 【16th ROUND (16段目)】

1 s c in next loop,

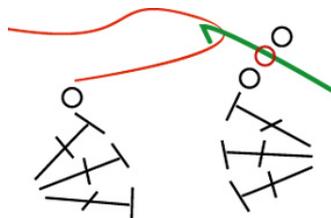
\* place 1 bead close to hook, ch 1, repeat from \* twice, s c in same loop (beaded picot),

次のループに細編み1目、ビーズを1つ引き寄せて鎖編み×3回、細編み1目

これで beaded pikot (=ビーズ付きピコット) になります。

### 【17th ROUND (17段目)】

3 dc in next shell, ch 1, join to center st of last shell worked  
(to join: slip loop off hook, insert hook in st to be joined, pick up dropped loop and pull loop through), ch 1, 3 dc in same shell where 3 dc was worked,  
次のシェル編みに長編み3目、鎖1目を編んだら、さっき編んだシェル編みの真中の目と繋がります  
(針にかかった糸を外し、直前のシェル編みの中心にある鎖目に針を入れ、外しておいた糸を拾って引き抜きます)



その後鎖1目、長編み3目を編んでシェル編みを完成させます。

17段目を編み終わったら、糸を切り、裏返さずに18段目へ進みます。  
(この段の最後はパイナップルの先端で終わるため)

### 【18th ROUND (18段目)】

With both threads pull up a loop in center ch of last shell worked and in center ch of 1st shell, thread over and work off all loops,  
前段の始め&終わりそれぞれの、シェル編み中心の鎖編み目(合わせて2目)に針を入れ、編み糸&ビーズを通した糸を引き抜き編みして糸をつけます。

beaded dc

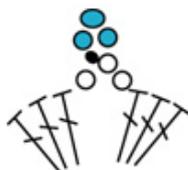
長編み完成の1歩手前のループでビーズを2つ編み入れる  
※目に針を入れ糸を引き出す→糸を掛け1つ目のループを引き抜く→ビーズを2つ寄せて一緒に2つ目のループを引き抜く→もう一度糸を引き抜き長編みを完成させる

beaded ch 3

ビーズを1つ引き寄せて鎖1目、を3回繰り返す

### 【19th ROUND (19段目)】

Sl st to center of next loop,  
次のループの中心まで、引き抜き編みで糸をもっていく  
dc in next loop, work a beaded ch 3, sl st in dc (beaded picot)  
長編みの頭にビーズ入りピコットを編みつける  
ch 2, then work a beaded ch 3, sl st in 4th st from hook for picot, ch 1,  
3 dc in same st of loop,  
鎖2目、ビーズ入り鎖目を3目編んだら、針から4番目の目に引き抜き編みをする。鎖1目、同じループに長編み3目を編む  
※図のようにシェル編みの真中にビーズ入りピコットを編むような感じです



1周編み終わったら、最初の立ち上がり3目の頭に引き抜き編みをして、糸を切る

\*\*\*これで完成です。お疲れさまでした♪\*\*\*